

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年9月2日（月）

NO. 889 ページ号

本号3頁

安倍9条改憲 NO!全国市民アクション

1日から9日までの全国一斉署名行動週間を呼びかけ、全国各地で一斉署名行動

全国市民アクションが「全国一斉署名行動週間」として、全国での3000万人署名行動を呼びかけています。中央では、1日の午後4時から御茶ノ水駅前で、「9条壊すな!実行委員会」が3000万人署名行動にとりくみました。1日の都内は雨が降ったり、止んだりのあいにくの天気でしたが、午後4時には雨足が止まり、何とか実施できました。1時間で42人の署名が集まりました。

行動には、38人が参加し、参加団体の代表がリレートークを行うとともに、ギターでの「1本の鉛筆」（美空ひばりさんの曲）の歌や、「安倍が9条に自衛隊を明記しようというのは、なぜか」と問いかけような3人による町中芝居も行われました。

リレートークでは憲法会議も発言し、「先の国会では改憲論議さえ行わず、発議を阻止できたのは、3000万人の署名の力。秋の臨時国会での改憲発議を阻止するためにも、早期に3000万人署名を達成したいので、ご協力を」と訴えました。

署名した千葉県の男性は、「安倍政権下での憲法9条改憲には多くの国民が反対しています。嘘をつき、国民を欺く安倍さんは危険です」と語っていました。



なお、憲法共同センターは全国の共同センター等に「全国一斉署名行動週間」の成功に向け奮闘するよう呼びかけていますが、憲法共同センターでは都内で10日に署名行動に取り組む予定です。

富山・小矢部市 市民アクションおやべ「3000万署名を1日再開」

市民アクションおやべの事務局の荒木義昭さんが、「300万人署名を再稼働された」との報告を下さいました。ちなみに、市民アクションおやべは、人口3万人の小矢部市で、憲法会議の憲法パンフレット「憲法9条を変えて、『戦争する自衛隊』にしているのですか」を500冊普及しました。市民の60人に1人が購読したことになります。

市民アクションおやべからの報告

暫くお休みをしていた安倍9条改憲 NO!3000万署名を本日再開しました。全国市民アクション実行委員会が呼びかけている9/1～9/9の「全国一斉署名行動週間」にちやて、9/1(土)の朝8時半から10時迄、宮島地区に入りました。

今日の参加は、7名で4組により、宮中、矢波地域を廻りました。

- ・核署名 24筆(累計 4318筆) 募金 1800円
 - ・9条署名 21筆(累計 2724筆) パンプ3部でした。(累計は7/1までの署名数と今日の累計)
- あいにくの雨でしたが、めげずにザーザー降りの雨の中、7名が宮島そば道場に集合。子撫川が流れる山間の集落に、平和を求める会話の輪が広がりました。

<トピックス>

・Mさん曰く「安倍は嫌いだ、私は自民党を止めた、ぶれずにはっきりしているのは共産党だ、党名を変えればいい、自民党には言いたいことが言えない」と語られました

・Kさんは、原水爆禁止カンパ400円と改憲NOパンフを買い求め、夫は認知症で署名できないからと、自分から2階の息子にも署名をしてもらってくれた。そして、安倍は嫌だ 障害者雇用数のゴマカシやモリカケはひどい 次回参院選は自民党に入れてはいけない 富山が変わらなければ世の中変わらない

・Sさんは、原水爆禁止カンパ900円、改憲NOパンフを買い求め、改憲は賛成だが憲法9条の改憲には反対だ、そしてヒバクシャ国際署名もして頂きました

・今日対話した28名中、9条改憲に反対と署名した方は18名(64%)、何らかの理由で署名しなかった方が10名(36%)でした。自民党の総裁選で9条改憲が毎日のように報道されている情勢を反映して、国民の中に憲法について関心が高まり、反対の流れが強まっていると感じられる署名活動でした。

徳島 「まだまだ続くよ 3000万人署名」と署名を訴える!

安倍9条改憲NO!徳島・市民アクションは1日、徳島市で3000万人署名への協力を呼びかけました。

徳島駅前前で「まだまだ続くよ 3000万人署名」と書いたビラを配布し、のぼりを掲げてアピールしました。徳島人権・平和運動センターの岩生大治議長は「5兆円超えの防衛費、米軍との共同の深化など戦争へ進む危惧が現実であり、戦争が危ない」と強調。「戦争させない1000人委員会」徳島の大西聡事務局長は「自衛隊が憲法上の組織になれば、海外での戦争に参加し、防衛費が伸び社会保障費が削られ、人権の制約が多くなる。『何も変わらない』とだまし、ごまかしの改憲は許されない」と訴えました。

防衛省等に県民大会決議を提出・要請

オール沖縄会議

沖縄県名護市辺野古新基地建設に反対するオール沖縄会議の共同代表らは30日、防衛省、外務省、内閣府に対して、11日の辺野古新基地建設の白紙撤回等を求めた県民大会の決議を提出しました。要請行動は、相次ぐ米軍機事故に関する対応と日米地位協定の改善も要求しました。決議では、ほかに普天間基地の即時閉鎖・撤去、辺野古地先への土砂投入計画の撤回、国内におけるオスプレイの配備撤回と飛行禁止を求めています。

政府側の対応について、同共同代表の前名護市長の稲嶺進氏は、「政務官が対応してくれたが『管轄外だ』という方で、話にならなかった。7万人の県民の決議だということを何も分かってくれていない」と苦言。「県知事選、本当に県民の思いを託せる候補者を当選させたい」と力を込めました。

高里鈴共同代表は、「防衛省は米軍機の事故をめぐって誠実に対応しているという姿勢を強調し、『数か月そういうことはないでしょう』と言いました。とんでもない。この間何十年も起こり続けていることを伝えた」と言及。沖縄県が31日に辺野古基地建設に伴う埋め立て承認撤回を行う方針について、「撤回には県民の強い願いが込められている。国は土砂投入を断念すべきだ」と語りました。



全国で「玉城さんを勝利させよう」と集会を開催!

都内 「総がかり行動実行委員会」と様々な団体・グループが緊急集会

沖縄県知事選挙で玉木デニーさんを当選させようと、30日、「総がかり行動実行委員会」をはじめとする様々な団体・グループが参加する実行委員会が、千代田区で緊急集会を開催しました。

集会では11日の沖縄県民大会の決議を外務省や防衛省等に提出に来られたオール沖縄会議の代表も駆けつけてスピーチしました。沖縄平和運動センターの山城博治さんは、「県知事選は絶対負けるわけには行かない」と力強く訴え、「全国からも、翁長さんの遺志を継いでいくという決意やエールを集会などで是非示してほしい」と呼びかけました。へり基地反対協議会共同代表の安治富

浩さんは、米軍新基地建設に反対する、「保守」と「革新」を超えた沖縄のたたかいにふれながら、「辺野古に基地はつくらせないという沖縄県民の思いは、日増しに強くなっています」と語り、県知事選に勝利して、安倍政権も倒れていきたいと語りました。



主催者を代表して、2氏があいさつしました。「沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック」の青木初子さんは、「沖縄に連帯して、本土からも大きなうねりを起こそう」と述べ、「総がかり行動実行委員会」の内田雅敏さんは、秋のたたかいは沖縄と憲法だと強調し、「私たちは、やるべきことをすべてやっつけよう」と呼びかけました。

新潟 「沖縄と連帯するつどい」を7日に開催予定

新潟では、9月7日に憲法共同センターが主催して、新潟ユニゾンで「沖縄と連帯するつどい」を開催します。

当日は、オープニングでは沖縄民謡グループが演奏し、日本共産党の武田良介参院議員が国会報告を行います。

そして、沖縄の仲間から連帯のメッセージが届く予定です。

兵庫 オール沖縄支援・連帯 兵庫県民集会&パレード開催

兵庫では、沖縄知事選を「日本の将来を左右する沖縄のたたかい」と位置づけ、9月13日に三宮・東遊園地南・噴水広場でオール沖縄支援・連帯・兵庫県民集会&パレードを開催します。

主催は、「オール沖縄」支援・連帯兵庫県民の会です。